

2025年度 京都教育大学 教育学部科目等履修生出願要項

1. 趣 旨

教育学部で開設している特定の授業科目について、本学学生の履修に支障をきたさない範囲において、本学学生以外の方が履修希望する授業科目の履修を許可し単位を認定するものです。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

3. 出願期間

履修希望の授業科目が開講される学期毎に出願期間が決まっています。

下記の出願期間中に、出願書類を本学教務課に持参してください。郵送による出願は受け付けません。

前年度後期からの継続で前期履修する場合や、前期からの継続で後期履修する場合も必ず下記の期間内に手続を行ってください。

前期開講科目) 2025年3月 6日(木)、7日(金)、10日(月)
通年開講科目)

後期開講科目 2025年8月18日(月)、19日(火)、20日(水)

受付時間は両期間とも、9:00~12:00と13:30~15:30です。

受付終了間際は非常に混雑しますので、時間に余裕をもってお越しくください。

(注) 教育実習等一部科目については、内諾を得た場合に限り出願を受け付けますので、できるだけ早期に教務課へ申し出てください。

4. 出願できる単位数

出願できる単位数は、次のとおりです。

- (1) 前期開講科目のみ履修する場合は、10単位以内です。
- (2) 後期開講科目のみ履修する場合は、10単位以内です。
- (3) 前期開講科目と後期開講科目の両方を履修する場合は、1年間で20単位以内です。

5. 出願時に提出する書類等

【新規出願の場合】

提出書類等	様式	摘要
入学志願書・履修申請書 及び履歴書・承諾書	別紙様式1	勤務先を有する方、他大学等に在学している方は、承諾書欄に所属長の承諾印が必要です。
健康診断書	別紙様式A	① 医療機関（保健所、各大学の保健管理センター）の医師が作成したもの、又は、勤務先で受検した健康診断の結果通知書（所属長の原本証明が必要） ② 診断日（エックス線撮影日含む）が、前期出願の場合は前年の4月1日以降、後期出願の場合は前年の10月1日以降のものに限ります。
最終出身学校の卒業（修了）証明書 又は 卒業（修了）見込証明書	出身（在籍）学校長が作成 <small>（注）</small>	① 卒業（修了）見込証明書が発行されない学年の場合は、「在学証明書」を提出してください。 ② 本学の卒業・修了生は不要です。
最終出身（在籍）学校の学業成績証明書	出身（在籍）学校長が作成 <small>（注）</small>	① 最終学歴が大学院（在籍・修了など）の方は、卒業された大学（学部）の成績証明書も併せて提出してください。 ② 本学の卒業・修了生は不要です。
検定料の「振替払込受付証明書」	別紙指定様式	本学所定の払込用紙を使用し、最寄りの郵便局から払込み、「振替払込受付証明書」を出願書類とともに提出してください。 （払込手数料は出願者負担）
幼稚園教諭2種免許状 又は 小学校教諭2種免許状	原本もしくは授与証明書	免許状取得済みを受講条件としている科目を出願する場合、提出してください。 （窓口でコピーを取り、受付完了後返却します。）

（注）証明書が和文以外の場合は、日本語訳を添付してください。（原本も提出）

【継続出願の場合】

提出書類等	様式	摘要
入学志願書・履修申請書 及び履歴書・承諾書	別紙様式1	① 勤務先を有する方、他大学等に在学している方は、承諾書欄に所属長の承諾印が必要です。 ② 写真は不要です。
健康診断書	別紙様式A	① 医療機関（保健所、各大学の保健管理センター）の医師が作成したもの、又は、勤務先で受検した健康診断の結果通知書（所属長の原本証明が必要） ② 診断日（エックス線撮影日含む）が、前期出願の場合は前年の4月1日以降、後期出願の場合は前年の10月1日以降のものに限ります。 ③ 前回出願時に提出した健康診断書の診断日（エックス線撮影日含む）が、②の要件を満たしている場合は提出不要です。
最終出身学校の卒業（修了）証明書 又は 卒業（修了）見込証明書	出身（在籍）学校長が作成 <small>（注）</small>	① 前回の出願時以降に学歴等に変更がない場合は提出不要です。 ② 卒業（修了）見込証明書が発行されない学年の場合は、「在学証明書」を提出してください。 （学年が変わる毎に提出ください） ③ 本学の卒業・修了生は不要です。
最終出身（在籍）学校の学業成績証明書	出身（在籍）学校長が作成 <small>（注）</small>	① 前回の出願時以降に成績等に変更がない場合は提出不要です。 ② 本学の卒業・修了生は不要です。
幼稚園教諭2種免許状 又は 小学校教諭2種免許状	原本もしくは授与証明書	免許状取得済みを受講条件としている科目を出願する場合、提出してください。 （窓口でコピーを取り、受付完了後返却します）

（注）証明書が和文以外の場合は、日本語訳を添付してください。（原本も提出）

【外国人留学生】

外国人留学生は前ページの提出書類と一緒に次の書類を提出してください。

提出書類等	摘要
住民票記載事項証明書	市区町村長の発行する住民票記載事項証明書 (在留資格が明記されたもの)
「日本留学試験」の 「日本語」成績通知書 又は 「日本語能力試験」の 成績通知書	(独)日本学生支援機構実施の成績通知書の原本 ----- (公財)日本国際教育支援協会実施の成績通知書の原本

6. 選考及び選考結果の通知

- (1) 選考は、書類審査により行います。
ただし、一部の授業科目については、面接及び学力検査を行うことがあります。
- (2) 面接及び学力検査を行う場合は、その旨を別途通知します。
- (3) 選考結果は、郵送にて通知します。電話による照会には応じません。

7. 入学辞退及び履修辞退について

- (1) 入学を辞退される場合は、入学料及び授業料を払込まずに、下記期限までに教務課へ連絡してください。

【入学辞退 届出期限】

- ① 通年及び前期：2025年 4月16日(水) 17:00
- ② 後 期：2025年10月10日(金) 17:00

- (2) 一部の科目を履修辞退される場合は、授業料を全額払込んだうえで、必ず下記期限までに履修辞退届(別紙様式B)を提出してください。

【履修辞退 届出期限】

- ① 通年及び前期授業科目：2025年 4月16日(水) 17:00
- ② 後 期 授 業 科 目：2025年10月10日(金) 17:00
- ③ 集 中 講 義 科 目：開講日前日(土日祝日は除く) 17:00

8. 入学時期及び在学期間

入学時期は、前期(4月)又は後期(10月)の始め(1日)とし、**継続履修期間は2年間**となります。

9. 検定料、入学料及び授業料

- (1) 検定料 **9,800円**(所定の払込用紙で郵便局から払込み、「振替払込受付証明書」を出願書類とともに提出してください。)

- (2) 入学料 **28,200円**(請求書送付後、所定の期日までに払込んでください。)

- (3) 授業料 **1単位につき14,800円**(請求書送付後、所定の期日までに払込んでください。)

一部辞退科目が生じた場合も、一旦全額払込んでいただきます。

[上記7. 入学辞退及び履修辞退について、及び下記(5) 参照]

- (4) 入学料・授業料の納入期限

① 通年及び前期授業科目：2025年 4月16日(水)

② 後 期 授 業 科 目：2025年10月10日(金)

上記期限までに入金されなかった場合は、入学及び履修を辞退したものとして取り扱います。

(5) **既納の検定料、入学料及び授業料は、返還しません。**

※ただし、次の場合に限り、本人の申し出により所定の手続を経て返還します。

〔検定料〕

- ・出願書類等の不備により出願手続きを完了しなかった場合

〔授業料〕

- ・授業料の払込み手続後、届出期間内に履修辞退の手続をした場合
- ・集中講義の日程決定後、開講日前日（土日祝日は除く）までに履修辞退の手続をした場合
- ・本学の都合により履修許可された授業科目を履修できなくなった場合

〔入学料〕

- ・本学の都合により履修許可された全ての授業科目を履修できなくなった場合

(6) 入学料・授業料は改定する場合があります。

(7) 現職教育のため任命権者により推薦された者、産業教育振興法及び理科教育振興法に基づく内地留学生については検定料、入学料が免除になる場合があります。（詳細については、できるだけ早期に教務課へ問い合わせてください。）

10. その他

(1) **出願受付以降の出願科目の変更・追加はできません。**

また、時間割変更や不開講が生じた場合も、出願科目の変更や追加はできませんのでご了承ください。

(2) 本学での履修と並行して、在籍大学等から教育実習へ参加する予定がある者は、履修に支障をきたすことがありますので、注意して出願してください。

(3) 履修した授業科目について試験等を受け、合格した者に対し単位を認定します。

(4) 成績は本人あてに郵送により通知します。電話による照会には応じません。成績通知の時期は次のとおりです。

①前期開講科目：**2025年9月上旬**

希望者には後期出願時に、判明している科目の成績をお知らせします。

②後期開講科目及び通年開講科目：**2026年3月上旬**

なお、一部の科目については、授業実施日程等の都合上、成績通知が各学期末より遅れる場合があります。

(5) 科目等履修生に対して発行する証明書は次のとおりです。

身分証明書	本学の附属図書館利用証と兼用になります。期末試験を受ける際などに提示を求めます。入学料・授業料納入期限後に、教務課窓口で交付します。
履修証明書	科目等履修生として履修中であることを証明します。履修期間と当該年度に履修登録している授業科目名等を表記します。
履修期間証明書	科目等履修生としての履修期間を証明します。
成績証明書	科目等履修で単位修得した授業科目の成績を証明します。
教育職員免許状申請用の「学力に関する証明書」	科目等履修で修得した免許状申請用単位の修得内容を証明します。教育職員免許状の申請手続は個人申請です。
教育職員免許状単位修得見込証明書	免許法別表第1に規定される免許状取得要件のすべてを本学で満たす場合に限り発行します。

- (6) 情報処理センターは授業以外では使用できません。
- (7) 通学のための自家用車入構許可証は発行しません。
- (8) 通学定期券等購入のための証明書や学割証の発行はできません。
- (9) 休講は電子掲示板（1号館C棟1階ロビー他）に、その他連絡事項は掲示板（図書館西側）に掲示します。なお、休講情報及び一部の授業連絡についてはメール配信を行っています。
 ※ただし、各種通信機器の設定状況によっては、メールが届かない場合もありますので、必ず学内掲示板を確認してください。
- (10) 受講する教室は前期は4月9日(水)、後期は9月30日(火)に掲示板に掲示します。
- (11) 履修登録までの日程

①前 期

出 願	-----	3月 6日(木)～	3月10日(月)
↓			
選考結果通知発送	-----	3月下旬	
↓			
入学料・授業料納入	-----	4月 1日(火)～	4月16日(水)
履修辞退届出期間	-----		

②後 期

出 願	-----	8月18日(月)～	8月20日(水)
↓			
選考結果通知発送	-----	9月下旬	
↓			
入学料・授業料納入	-----	10月 1日(水)～	10月10日(金)
履修辞退届出期間	-----		

前期授業開始	4月10日(木)
後期授業開始	10月 1日(水)

<p>【問い合わせ先】 〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地 京都教育大学 教務課教務グループ ☎075-644-8157</p>

出願できる授業科目について

本学教育学部で開講している授業科目のうち、科目履修できる授業科目は、次ページ以降に記載しています。

(不開講の科目も一部あります。)

授業時間割と授業内容などは、2月下旬以降に教務課窓口及び京都教育大学ホームページ(トップページ→キャンパスライフ(教務・学生生活情報)→教務情報→授業科目(時間割)・シラバス検索)で閲覧できます。(授業内容については、順次掲載しますので、2月下旬には未掲載の科目もあります。)

1. 一部の授業科目で受講制限を設けていますので、制限内容を確認して出願してください。
2. 受講制限を設けていない授業科目でも、履修不許可とする場合があります。
3. 授業時間割は、出願受付以後に変更となる場合や急遽不開講になる場合がありますのでご了承ください。

《教員免許状取得を目的に履修する方へ》

1. 出願前に、各自で授与権者(都道府県教育委員会)又は出身大学に修得の必要がある科目・単位等を確認してください。(本学教育学部卒業生は、本学教務課にて確認できます。)
2. 教員免許状申請は、単位等の確認を受けた都道府県教育委員会に各自が申請(個人申請)してください。

◎出願を受け付けた科目でも、選考の結果、履修不許可とする場合があります。

免許法別表第1備考第4号(免許法施行規則第66条の6)の科目

区 分	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
日 本 国 憲 法	日本国憲法	2	
体 育	生涯スポーツ実習ⅠA～D	1	
	生涯スポーツ実習ⅡA～D	1	
外 国 語 コミュニケーション	英語コミュニケーションA	1	
	英語コミュニケーションB	1	
	フランス語コミュニケーションA	1	
	フランス語コミュニケーションB	1	
	ドイツ語コミュニケーションA	1	
	ドイツ語コミュニケーションB	1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目	数理・データサイエンス・AI	2	受講できません。

教科及び教職に関する科目

「教職に関する科目」の履修について(次ページ表中第三欄～第五欄)

1. 「教育実習(障害児教育実習を含む。)」の履修を希望される方へ
 - (1) 「教育実習」は、履修希望年度の前年度3月末までに「教育実習」及び「教職実践演習」以外の免許状取得要件を満たす見込みの本学教育学部卒業生で、かつ、履修希望年度の前年度2月末までに教務課へ履修希望を申し出て内諾を得ている方に限り出願を受け付けます。
なお、受入審査において面接試験を実施します。
さらに、必要に応じて、学力検査を実施することがあります。
 - (2) 本学附属学校園において、本学学生と同一日程で行います。
 - (3) 麻疹の抗体を有するか、予防接種を接種済みであることが確認できる書類を教務課実地教育グループへ履修希望年度の前年度3月末までに提出してください。提出なき場合は、「教育実習」の履修はできません。
 - (4) 「教育実習」を行う年度の4月に学生課において「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」の加入手続を行い、保険料領収書を教務課実地教育グループへ提出してください。提出なき場合は、「教育実習」の履修はできません。
 - (5) 「初等教育実習」(5単位)の履修を希望する場合、あわせて「初等教科教育実践論」(2単位前期科目)も履修してください。
2. 「教職実践演習」の履修を希望される方へ
 - (1) 「教職実践演習」は次の①又は②に該当し、かつ、履修希望年度の前年度2月末までに教務課へ履修希望を申し出て内諾を得ている方に限り出願を受け付けます。内諾時に「履修カルテ」を交付します。
 - ① 「教職実践演習」以外の免許状取得要件を満たしている本学教育学部卒業生。
 - ② 「教職実践演習」を履修する年度内に教職実践演習以外の免許状取得要件を満たす見込みがある本学教育学部卒業生。
3. 履修クラス等の制限について
 - ① 「教育心理学」は(a)・(b)クラスは5名まで、(d)クラスは10名までの受入れとなります。
 - ② 「生徒指導・進路指導の理論及び方法」及び「教育相談の理論及び方法」は各クラス5名までの受入れとなります。
 - ③ 「保育の方法及び技術」は本学教育学部卒業生のみ出願を受け付けます。

(平成28年改正法適用)

免許法施行規則の科目		授業科目名	単位	対応する校種				
				幼	小	中	高	
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	【小】教科に関する専門的事項	小学校教科内容論〇〇 *【授業科目の詳細は次ページを参照】	*	/	◎	/	/
		【小】各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	初等〇〇科教育 *【授業科目の詳細は次ページを参照】	*	/	◎	/	/
		【中・高】教科に関する専門的事項	*【授業科目の詳細は12ページ以降を参照】	*	/	/	◎	◎
		【中・高】各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中等〇〇科教育Ⅰ～Ⅳ *【授業科目の詳細は10～11ページを参照】	*	/	/	◎	◎
領域及び保育内容の指導法に関する科目	【幼】領域に関する専門的事項	幼児と〇〇	*	◎	*【授業科目の詳細は9～10ページを参照】			
		【幼】保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容・〇〇の指導法	*	○			
		保育内容総論	1	○				
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の理念と歴史	2	○	○	○	○
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	○	○	○	○
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	公教育経営論 教育社会学	2 2	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	●	●	●	●
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	○	○	○	○
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	○	○	○	○
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2	/	○	○	/
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	/	○	○	○
		【高】総合的な探究の時間の指導法	特別活動の指導法	2	/	○	○	○
		特別活動の指導法	教育方法・ICT活用論	2	○	○	○	○
		教育の方法及び技術	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	/	●	●	●
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2	/	●	●	●
		生徒指導の理論及び方法	【幼】教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	2	●	/	/	/
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	【幼】幼児理解の理論及び方法	2	○	/	/	/
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	【幼】教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	/	/	/	/
		保育の方法及び技術	幼児の心理と相談	2	○	/	/	/
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	初等教育実習	5	●	●	/	/
			中等教育実習	5	/	/	●	●
		教職実践演習	教職実践演習	2	●	●	●	●

※ ●は受講条件のある科目です。前ページの《「教職に関する科目」の履修について》を参照してください。
 ※ ◎は受講条件のある科目です。次ページ以降を参照してください。

教科及び教科の指導法に関する科目(前ページ表中第二欄)

教科に関する専門的事項(小学校)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
国語(書写を含む。)	小学校教科内容論国語	2	
社 会	小学校教科内容論社会	2	
算 数	小学校教科内容論算数	2	
理 科	小学校教科内容論理科	2	※履修制限有り、欄外参照
生 活	小学校教科内容論生活	2	
音 楽	小学校教科内容論音楽	2	※履修制限有り、欄外参照
図 画 工 作	小学校教科内容論図画工作	2	※履修制限有り、欄外参照
家 庭	小学校教科内容論家庭	2	※履修制限有り、欄外参照
体 育	小学校教科内容論体育	2	※履修制限有り、欄外参照
外 国 語	小学校教科内容論英語	2	

※他大学在学中の者は、出願の時点で小学校2種免許状取得済の場合に限る。

各教科の指導法(小学校)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
国語(書写を含む。)	初等国語科教育	2	他大学在学中の者は、出願時点で小学校2種免許状取得済みの場合に限る。
理 科	初等理科教育	2	
図 画 工 作	初等図画工作科教育	2	
社 会	初等社会科教育	2	
算 数	初等算数科教育	2	
生 活	初等生活科教育	2	
音 楽	初等音楽科教育	2	
家 庭	初等家庭科教育	2	本学教育学部卒業生に限る。
体 育	初等体育科教育	2	本学教育学部卒業生に限る。
外 国 語	初等英語科教育	2	

領域及び保育内容の指導法に関する科目(前ページ表中第二欄)

領域に関する専門的事項(幼稚園)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
健 康	幼児と健康	1	※履修制限有り、欄外参照
人 間 関 係	幼児と人間関係	1	※履修制限有り、欄外参照
環 境	幼児と環境	1	※履修制限有り、欄外参照
言 葉	幼児と言葉	1	※履修制限有り、欄外参照
表 現	幼児と表現	1	※履修制限有り、欄外参照

※他大学在学中の者は、出願の時点で幼稚園2種免許状取得済の場合に限る。

保育内容の指導法(幼稚園)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
健 康	保育内容・健康の指導法	2	
人 間 関 係	保育内容・人間の指導法	2	
環 境	保育内容・環境の指導法	2	
言 葉	保育内容・言葉の指導法	2	
表 現	保育内容・表現の指導法	2	
(複 合 領 域)	保育内容総論	1	

各教科の指導法(中学校・高等学校)

各教科の指導法(中学校・高等学校)の履修について

- 履修に際しては、Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳの順に履修してください。
ただし、出願の時点で各教科の指導法(中学校・高等学校)の既修得単位がある場合は、教務課に相談してください。
- 免許法別表第1又は別表第4適用による免許状取得希望者は次のとおり履修してください。
 - ①中学校免許状取得の場合：Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳを履修してください。
 - ②高等学校免許状取得の場合：Ⅰ，Ⅱを履修してください。(地歴・公民を除く)

免許教科	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
国 語	中等国語科教育Ⅰ	2	
	中等国語科教育Ⅱ	2	
	中等国語科教育Ⅲ	2	
	中等国語科教育Ⅳ	2	
社 会	中等社会(公民)科教育Ⅰ	2	
	中等社会(地歴)科教育Ⅱ	2	
	中等社会(公民)科教育Ⅲ	2	
	中等社会(地歴)科教育Ⅳ	2	
地理歴史 (高 免)	中等社会(地歴)科教育Ⅱ	2	
	中等社会(地歴)科教育Ⅳ	2	
公 民 (高 免)	中等社会(公民)科教育Ⅰ	2	
	中等社会(公民)科教育Ⅲ	2	
数 学	中等数学科教育Ⅰ	2	
	中等数学科教育Ⅱ	2	
	中等数学科教育Ⅲ	2	
	中等数学科教育Ⅳ	2	
理 科	中等理科教育Ⅰ	2	
	中等理科教育Ⅱ	2	
	中等理科教育Ⅲ	2	
	中等理科教育Ⅳ	2	
音 楽	中等音楽科教育Ⅰ	2	
	中等音楽科教育Ⅱ	2	
	中等音楽科教育Ⅲ	2	
	中等音楽科教育Ⅳ	2	

免許教科	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
美 術	中等美術科教育Ⅰ	2	
	中等美術科教育Ⅱ	2	
	中等美術科教育Ⅲ	2	
	中等美術科教育Ⅳ	2	
書 道 (高 免)	中等書道科教育Ⅰ	2	「書道」免許状取得目的の場合に限る。
	中等書道科教育Ⅱ	2	
工 芸 (高 免)	中等工芸科教育Ⅰ	2	
	中等工芸科教育Ⅱ	2	
保健体育	中等保健体育科教育Ⅰ	2	
	中等保健体育科教育Ⅱ	2	
	中等保健体育科教育Ⅲ	2	
	中等保健体育科教育Ⅳ	2	
技 術 (中 免)	中等技術科教育Ⅰ	2	
	中等技術科教育Ⅱ	2	
	中等技術科教育Ⅲ	2	
	中等技術科教育Ⅳ	2	
工 業 (高 免)	中等工業科教育Ⅰ	2	
	中等工業科教育Ⅱ	2	
農 業 (高 免)	中等農業科教育Ⅰ	2	
	中等農業科教育Ⅱ	2	
家 庭	中等家庭科教育Ⅰ	2	
	中等家庭科教育Ⅱ	2	
	中等家庭科教育Ⅲ	2	
	中等家庭科教育Ⅳ	2	
英 語	中等英語科教育Ⅰ	2	
	中等英語科教育Ⅱ	2	
	中等英語科教育Ⅲ	2	
	中等英語科教育Ⅳ	2	

教科に関する専門的事項(中学校国語・高等学校国語)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最 低 修 得 単 位			受 講 条 件				
			中2種	中1種	高1種					
国 語 学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概説 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	2	2	2	2					
	国語教育概説	2	2	2	2					
	国語学演習	2	/							
	国語表現論	2								
	国語音声学	2								
	国語学特講	2								
	国語科教育演習A	2								
	国語科教育演習B	2								
	国語科教育特講B	2								
国 文 学 (国文学史を含む。)	国文学概説(国姓史を含む。)	2					2	2	2	
	国文学演習A	2					/			
	国文学演習B	2								
	近・現代文学演習	2								
	近・現代文学特講	2								
	古典文学演習	2								
	古典文学特講	2								
	国文学特講	2								
	国語科教育演習C	2								
	国語科教育特講A	2								
	国語科教育特講C	2								
漢 文 学	漢文学概説	2	2	2	2					
	漢文学演習A	2	/							
	漢文学演習B	2								
	漢文学演習C	2								
	漢文学特講A	2								
	漢文学特講B	2								
[中免のみ] 書道 (書写を中心とする。)	基本書法(詠を中心とする。)	2					2	2	X	
上記必修単位を含む必要修得単位数			10	20	20					

※高1種免許には書道の科目「基本書法」を含まない。

教科に関する専門的事項(中学校社会)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最低修得単位		受 講 条 件
			中2種	中1種	
日 本 史 ・ 外 国 史	日本史概論	2	2	2	
	外国史概論	2	2	2	
地 理 学 (地誌を含む。)	地理学概論(地誌を含む。)	2	2	2	
	地誌学概論	2		2	
「法律学、政治学」	法律学概論	2	2 単位 選択必修	2	
	政治学概論	2		2	
「社会学、経済学」	社会学概論	2	2 単位 選択必修	2	
	経済学概論	2		2	
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2	2 単位 選択必修	2	
	倫理学概論	2		2	
上記必修単位を含む必要修得単位数			1 2	2 0	

教科に関する専門的事項(高等学校地理歴史)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最低修得単位	受 講 条 件
			高 1 種	
日 本 史	日本史概論	2	2	
	日本史研究	2		
	日本史特講	2		
外 国 史	外国史概論	2	2	
	西洋史研究	2		
	西洋史特講	2		
	近現代史特講	2		
人 文 地 理 学 ・ 自 然 地 理 学	地理学概論	2	2	
	自然地理学	2	2	
	地理学特講	2		
地 誌	地誌学概論	2	2	
	地誌学研究	2		
上記必修単位を含む必要修得単位数			20	

教科に関する専門的事項(高等学校公民)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最低修得単位	受 講 条 件
			高 1 種	
「法律学(国際法を含む)、 政治学(国際政治を含む)」	法律学概論(国際法を含む。)	2	2 単位 選択必修	
	政治学概論(国際政治を含む。)	2		
	法律学研究	2		
	法律学特講	2		
	政治学研究	2		
	政治学特講	2		
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	社会学概論	2	2 単位 選択必修	
	経済学概論(国際経済を含む。)	2		
	社会学研究	2		
	社会学特講	2		
	経済学研究	2		
	経済学特講	2		
「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	哲学概論	2	2 単位 選択必修	
	倫理学概論	2		
	哲学倫理学研究	2		
	哲学倫理学特講	2		
上記必修単位を含む必要修得単位数			20	

教科に関する専門的事項(中学校数学・高等学校数学)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最 低 修 得 単 位			受 講 条 件※
			中2種	中1種	高1種	
代 数 学	代数学序論Ⅰ ※①	2	2	2	2	
	代数学序論Ⅱ ※②	2	/			※①
	代数学本論Ⅰ ※③	2				※①、②、⑤
	代数学本論Ⅱ ※④	2				※①、②、③、⑤
幾何学序論Ⅰ ※⑤	2	2				2
幾 何 学	幾何学序論Ⅱ ※⑥	2	/			※⑤
	幾何学本論Ⅰ ※⑦	2				※⑤、⑥
	幾何学本論Ⅱ ※⑧	2				※⑤、⑥、⑦
	解析学序論Ⅰ ※⑨	4				4
解 析 学	解析学序論Ⅱ ※⑩	4	/			※⑨
	解析学本論Ⅰ ※⑪	2				※①、②、⑤、⑥、⑨、⑩
	解析学本論Ⅱ ※⑫	2				※①、②、⑤、⑥、⑨、⑩、⑪
	微分方程式 ※⑬	2				※①、②、⑤、⑥、⑨、⑩、⑪
	偏微分方程式 ※⑭	2				※①、②、⑤、⑥、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬
	「確率論、統計学」	統計学				2
コ ン ピ ュ ー タ	コンピュータ・情報処理Ⅰ	2	2	2	2	コンピュータ台数の範囲内で受講を認める。
	コンピュータ・情報処理Ⅱ	2	/			
上記必修単位を含む必要修得単位数			12	20	20	

※指示されている番号に対応する科目の単位を修得済またはそれに相当する学力を有すること。

教科に関する専門的事項(中学校理科・高等学校理科)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最 低 修 得 単 位			受 講 条 件
			中 2 種	中 1 種	高 1 種	
物 理 学	物理学Ⅰ	1	1	1	1	
	物理学Ⅱ	2		2	2	
化 学	化学Ⅰ	1	1	1	1	
	化学Ⅱ	2		2	2	
生 物 学	生物学Ⅰ	1	1	1	1	
	生物学Ⅱ	2		2	2	
地 学	地学Ⅰ	1	1	1	1	
	地学Ⅱ	2		2	2	
物理学実験・化学実験・ 生物学実験・地学実験	物理学基礎実験	2	2	2	2	※履修制限有り、 欄外参照
	化学基礎実験	2	2	2	2	
	生物学基礎実験	2	2	2	2	
	地学基礎実験	2	2	2	2	
上記必修単位を含む必要修得単位数			1 2	2 0	2 0	

※現職教員(非常勤講師を含む)で、教員免許状取得目的の場合に限り、受講を認めることがある。

教科に関する専門的事項(中学校音楽・高等学校音楽)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最 低 修 得 単 位			受 講 条 件
			中2種	中1種	高1種	
ソルフェージュ	ソルフェージュ	2	2	2	2	
声 楽 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	声楽基礎演習 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	2	2	2	2	
	合唱 I	1				
器 楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	器楽基礎演習 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	2	2	2	2	
	合奏研究 I	2				
指 揮 法	指揮法 I	1	1	1	1	
音楽理論・作曲法 (編曲法を含む。)・音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	作曲・編曲法基礎演習 (音楽理論,作曲法(編曲法)を含む。)	2	2	2	2	
	音楽史概論 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	2	2	2	2	
	作曲 I	2				
	民族音楽学	2				
	西洋音楽史	2				
	日本音楽史	2				
上記必修単位を含む必要修得単位数			11	20	20	

教科に関する専門的事項(中学校美術・高等学校美術)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最 低 修 得 単 位			受 講 条 件
			中 2 種	中 1 種	高 1 種	
絵 画 (映像メディア表現を含む。)	素描(映像メディア表現を含む。)	2	2	2	2	
	絵画演習	2	/			
	絵画表現	2				
彫 刻	立体表現基礎	2	2	2	2	
	立体素材研究	2	/			
	塑造研究	2				
デ ザ イ ン (映像メディア表現を含む。)	デザイン基礎(映像メディア表現を含む。)	2	2	2	2	
	色彩学	2	/			
	デザインⅠ	2				
	デザインⅡ	2				
[中免のみ] 工 芸	工芸基礎	2	2	2	X	
	工芸理論	2	/			
	工芸素材研究	2				
	陶芸研究	2				
美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術 及びアジアの美術を含む。)	美学概論Ⅰ(美術理論)	2	2	2	2	
	美術史Ⅰ (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	2	2	2	2	
	美術史Ⅱ	2	/			
上記必修単位を含む必要修得単位数			1 2	2 0	2 0	

※高1種免には工芸の科目を含まない。

教科に関する専門的事項(高等学校工芸)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最低修得単位	受 講 条 件
			高 1 種	
図 法 ・ 製 図	図法・製図	2	2	
デ ザ イ ン	デザイン基礎	2	2	
	デザインⅠ	2		
	デザインⅡ	2		
工 芸 制 作 (プロダクト制作を含む。)	工芸基礎(プロダクト制作を含む。)	2	2	
	工芸素材研究	2		
	陶芸研究	2		
	陶芸技法と表現	2		
	工芸表現研究	2		
工芸理論・デザイン理論 ・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統 工芸及びアジアの工芸 を含む。)	工芸理論	2	2	
	色彩学(デザイン理論)	2	2	
	美術史Ⅰ (鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)	2	2	
上記必修単位を含む必要修得単位数			20	

教科に関する専門的事項(高等学校書道)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最低修得単位	受 講 条 件
			高 1 種	
書 道 (書写を含む。)	筆技基礎(書写を含む)	2	2	
	漢字かな交じり書	2	2	
	基本書法	2		
	かな書法Ⅰ	2		
	かな書法Ⅱ	2		
	漢字書法Ⅰ	2		
	漢字書法Ⅱ	2		
書 道 史	中国書道史Ⅰ	2	2	
	日本書道史Ⅰ	2	2	
「書論、鑑賞」	書学特講	2	2	
「国文学、漢文学」	国文学概説	2	2単位 選択必修	
	漢文学概説	2		
上記必修単位を含む必要修得単位数			20	

教科に関する専門的事項(中学校保健体育・高等学校保健体育)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最 低 修 得 単 位			受 講 条 件
			中2種	中1種	高1種	
体 育 実 技	器械運動	1	1	1	1	受講できません。
	陸上競技	1	1	1	1	
	水泳	1	1	1	1	
	ダンス	1	1	1	1	
	武道	1	1	1	1	
	バスケットボール	1	1	1	1	
	バレーボール	1	1	1	1	
	ベースボール型球技	1	1	1	1	
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」 ・運動学（運動方法学を含む。）	運動学（運動方法学を含む。）	2	2	2	2	
	体育原理	2	2 単位 選択必修	2 単位 選択必修	2 単位 選択必修	
	スポーツ社会学	2				
	スポーツ心理学	2				
	学校体育マネジメント論	2				
生理学（運動生理学を含む。）	生理学（運動生理学を含む。）	2	2	2	2	
衛生学・公衆衛生学	衛生学及び公衆衛生学	2	2	2	2	
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健 （小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	2	2	2	2	
	救急処置及び看護	2				
上記必修単位を含む必要修得単位数			18	20	20	

教科に関する専門的事項(中学校技術)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最低修得単位		受 講 条 件
			中 2 種	中 1 種	
材 料 加 工 (実習を含む。)	木材加工法・実習(習を含む。)	2	2	2	人数制限を設けることがある。
	金属材料(習を含む。)	2	2	2	
	製図	2			
機 械 ・ 電 気 (実習を含む。)	機械基礎・実習(習を含む。)	2	2	2	人数制限を設けることがある。
	機械技術概論	2			
	力学応用	2			
	電気基礎・実習(習を含む。)	2	2	2	人数制限を設けることがある。
	電気技術概論	2			
	電磁気学応用	2			
生 物 育 成	栽培実習 I	2	2	2	
	栽培と環境	2			
	生物育成実習	1			「栽培実習 I」と同一年度に履修すること。
情報とコンピュータ	情報基礎実験	1	1	1	本学教育学部卒業生に限る。
	情報通信ネットワーク	2			
上記必修単位を含む必要修得単位数			1 1	2 0	

教科に関する専門的事項(高等学校工業)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最低修得単位	受 講 条 件	
			高 1 種		
工業の関係科目	木材加工法・実習	2	2	人数制限を設けることがある。	
	金属材料	2	2		
	機械基礎・実習	2	2	人数制限を設けることがある。	
	電気基礎・実習	2	2	人数制限を設けることがある。	
	情報基礎実験	1	1	本学教育学部卒業生に限る。	
	電気技術概論	2			
	機械技術概論	2			
	技術基礎Ⅰ	2			
	技術基礎Ⅱ	2			
	電気電子実験	1		人数制限を設けることがある。	
	創造技術実習Ⅰ	2		人数制限を設けることがある。	
	創造技術実習Ⅱ	2		人数制限を設けることがある。	
	力学応用	2			
	電磁気学応用	2			
	製図	2			
職業指導	職業指導概論(工業)	2		2	「工業」免許状取得目的の場合に限る。
上記必修単位を含む必要修得単位数				20	

教科に関する専門的事項(高等学校農業)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最低修得単位	受 講 条 件
			高 1 種	
農 業 の 関 係 科 目	農業実習 I	2	2	
	農業実習 II	2		
	園芸と環境 I	2		
	園芸と環境 II	2		
	動物資源利用学	2		
	植物組織培養論	2		
	昆虫学	2		
	植物分類形態学	2		
	分子生物学	2		
	食品化学	2		
職 業 指 導	職業指導概論 (農業)	2	2	「農業」免許状取得目的の場合に限る。
上記必修単位を含む必要修得単位数			20	

教科に関する専門的事項(中学校家庭・高等学校家庭)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最 低 修 得 単 位			受 講 条 件
			中 2 種	中 1 種	高 1 種	
家 庭 経 営 学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	生活経営論 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	2	2	2	2	
	家庭経済学	2	/			
	家族関係学	2				
被 服 学 (被服実習を含む。)	衣生活概論	2	2	2	2	
	衣生活実習(被服実習)	1	1	1	1	受講できません。
	被服科学	2	/			
食 物 学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	食物学概論(栄養学、食品学を含む。)	2		2	2	2
	食生活実習(調理実習)	1	1	1	1	受講できません。
	食生活論	2	/			
	食品材料学	2				
住 居 学	住居学	2	2	2	2	
	住生活と環境	2	/			
	住まいの計画学	2				
保 育 学	保育学	2	2	2	2	
上記必修単位を含む必要修得単位数			1 2	2 0	2 0	

教科に関する専門的事項(中学校英語・高等学校英語)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最 低 修 得 単 位			受 講 条 件
			中 2 種	中 1 種	高 1 種	
英 語 学	英語学概説 I	2	2	2	2	
	英語学概説 II	2	2	2	2	
	英語学基礎	2	/			
	英語学演習 A	2				
	英語学演習 B	2				
英 語 文 学	英語文学基礎講読 I	2	2	2	2	
	英語文学基礎講読 II	2	2	2	2	
	英語文学演習 I	2	/			
	英語文学演習 II	2				
英語コミュニケーション	コミュニケーションⅠ イングリッシュ I	2	2	2	2	
	コミュニケーションⅡ A	2	2	2	2	
	コミュニケーションⅡ B	2	/			
異 文 化 理 解	比較文化	2	2	2	2	
上記必修単位を含む必要修得単位数			1 4	2 0	2 0	

大学が独自に設定する科目

授 業 科 目 名	単 位	対 応 す る 校 種				受 講 条 件
		幼	小	中	高	
介護等体験事前教育	1	○	○	○	○	本学教育学部卒業生に限る。 受入審査において面接試験を実施する。 下記参照のこと。

介護等体験について

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」に定められている「介護等体験」については、体験までに「介護等体験事前教育」（1単位）を修得した本学教育学部卒業生に限り受け入れます。基本的に「介護等体験」は、10月～3月の間に行います。「介護等体験事前教育」の履修期と体験時期の確認をしますので、遅くとも体験希望年度の前年度2月末までに教務課実地教育グループまで申し出てください。

注1) 麻疹の抗体を有するか、予防接種を接種済みであることが確認できる書類を教務課実地教育グループへ体験する前年度3月末までに提出してください。提出なき場合は、「介護等体験」はできません。

注2) 「介護等体験」を行う年度の4月に学生課において「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」の加入手続きを行い、保険料領収書を教務課実地教育グループへ提出してください。

提出なき場合は、「介護等体験」はできません。

特別支援教育に関する科目(知的障害・肢体不自由・病弱領域)

免許法施行規則の科目	授 業 科 目 名	単 位	最低修得単位		受 講 条 件	
			特支2種	特支1種		
特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育基礎理論	2	2	2		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害心理学概論	2	2	2	左 の 単 位 ほ か に 4 単 位 選 択 必 修
	発達障害学特講	2	/		受講できません。	
	障害児心理特講	2				
	障害児動作概論	2				
	肢体不自由概論	2				
	障害児診断学	2	2	2		
	障害児教育方法	2	2	2		
	障害児教育特講	2	/		受講できません。	
	障害児指導法	2				
	障害児教育臨床A	1				
	障害児教育臨床B	1				
	障害児心理臨床A	1				
	障害児心理臨床B	1				
	障害児生理・病理臨床IA	1				
	障害児生理・病理臨床IB	1				
	障害児生理・病理臨床IIA	1				
障害児生理・病理臨床IIB	1					
肢体不自由教育	2	2	2			
病弱教育	2	2	2			
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	視覚障害教育総論	2	2	2		
	聴覚障害児の教育	2	2	2		
	重複障害教育総論	2	2	2		
	LD等教育総論	2	/			
	情緒障害児特講	2				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	障害児教育実習	3	3	3	受講条件有り、下記参照	
上記必修単位を含む必要修得単位数			23	27		

※「障害児教育実習」の履修を希望される方へ

7ページの『教職に関する科目』の履修について」を参照してください。

学校図書館司書教諭資格関係の科目

学校図書館司書教諭講習 規程第3条の科目及び単位数		授 業 科 目 名	単 位	備 考
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	注1. を参照してください。

注1. 「情報メディアの活用」は、「情報メディアの活用」を除く4科目の単位を修得済み又は年度内に修得見込みの本学教育学部卒業生に限ります。受入可能人数は若干名で、希望者多数の場合は、優先順位を次のとおりとします。

- ① 「情報メディアの活用」を除く4科目を修得済みの本学教育学部卒業生
- ② 年度内に「情報メディアの活用」を除く4科目を修得見込みの本学教育学部卒業生

その他の科目

〔教育学科設置科目〕

授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
公教育経営演習	2		認知発達心理学特講	2	
教育哲学	2		児童の心理学	2	
日本教育史	2		青年の心理学	2	
西洋教育史	2		臨床人格心理学特講	2	
学校教育と法規	2		心理療法論	2	
教育社会学特講	2		生涯発達心理学	2	
対人関係論特講	2				

〔幼児教育科設置科目〕

授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
幼児教育学総論	2		幼児心理学総論	2	
音楽基礎	1				

〔国文学科設置科目〕

授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
小学校国語科文学教材論	2		日本語教育方法論	2	
小学校国語科漢文教材論	2		第2言語習得論	2	
児童・生徒のための日本語教育論B	2				

〔理学科設置科目〕

授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件	授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
小学校理科教材論	2		分子生物学	2	
生物化学概論	2		分子免疫学	2	
相対性理論	2		無機・分析化学概論	2	
地球物理学概論	2		有機化学概論	2	
電磁気学基礎	2		力学基礎	2	
発生生物学	2		量子力学	2	
物理化学概論	2		地震学	2	
物理学基礎	2				

授 業 科 目 名	単 位	受 講 条 件
初等教科教育実践論	2	初等教育実習(5単位)を受講する者に限る。

出 願 書 類

- | | |
|--|----------|
| 1. 教育学部科目等履修生
入学志願書・履修申請書及び履歴書・承諾書（3月出願用） | 様式 1 - 1 |
| 2. 教育学部科目等履修生
入学志願書・履修申請書及び履歴書・承諾書（8月出願用） | 様式 1 - 2 |
| 3. 健康診断書 | 様式 A |
| 4. 履修辞退届 | 様式 B |
| 5. 振替払込用紙（郵便局） | |

【 提出書類に関する留意事項 】

1. 記入はボールペン又はインクにより楷書で記入してください。
2. 勤務先を有する方又は大学等に在学している方は、勤務先の所属長又は学部長（研究科長）の承諾を受け、「履歴書」の承諾書欄に必ず記入・押印を受けてください。
3. 類似した名称の授業科目がありますので、履修申請科目名・クラスを正確に記入してください。

2025 年度教育学部科目等履修生 入学志願書・履修申請書及び履歴書・承諾書

学籍番号 ※新規出願者記入不要						年	月	日
フリガナ								身分証明証用 写真貼付欄 正面・上半身 脱帽・無背景 タテ3cm×ヨコ3cm 写真の裏面に氏名を記入し、貼付けて下さい。 ※継続の方は不要です。
氏名								
生年月日	年	月	日	性別	男・女			
現住所	〒 —							
	電話番号		— —		携帯電話番号		— —	
メールアドレス 裏面に必ず記載してください (連絡通知用)								
履修目的 (具体的に)								
履修目的が 教員免許状 取得の場合記入	取得希望 教員免許状	学校教諭 種 (教科又は領域:)						
		学校教諭 種 (教科又は領域:)						
	現に所有 している 教員免許状	学校教諭 種・級 (教科又は領域:)						
		学校教諭 種・級 (教科又は領域:)						
		学校教諭 種・級 (教科又は領域:)						

履修申請科目等

授業科目名 (クラス名)	開講期	単位数	曜日・時限	担当教員名
	前期・通年		・	
	前期・通年		・	
	前期・通年		・	
	前期・通年		・	
	前期・通年		・	
	前期・通年		・	
	前期・通年		・	
	前期・通年		・	
	前期・通年		・	
合 計 () 科目 () 単位				

(以下教務課記入欄)

- 履修期間確認 期間確認 (年 月入学) 新規入学生
- 検定料納入 納入済 納入不要 (継続、 規程第 15 条)
- 履修科目確認 科目単位数 出願不許可科目無し
- 所属長承諾 有 不要
- 添付書等確認 健康診断書⇒ 不要 (前回提出診断日 前年度 4/1 以降)
- 卒業 (見込) 証明書 (在学証明書) ⇒ 不要 (学歴変更無、 本学卒業生)
- 成績証明書⇒ 不要 (学歴変更無、 本学卒業生)
- 教員免許状 (小 2、 幼 2) ⇒ 不要
- 宛名ラベル

出願学科等数 () 学科

2025 年度教育学部科目等履修生 入学志願書・履修申請書及び履歴書・承諾書

氏 名	
-----	--

メールアドレス

※下記の文字は判別が難しく、誤登録のおそれがありますので、フリガナ付けに協力をお願いします。
。(下記の文字以外はフリガナなしで結構です)。

フリ ガナ	イチ	エル	アイ	オー	ゼロ	エイチ	エヌ	ゼット	ニ	エイ	キュウ (数字)	キュー	ジー	ハイ フン	アンダ ーバー
アド レス	1	l	i	o	0	h	n	z	2	a	9	q	g	-	-

フリガナ																		
アドレス																		
フリガナ																		
アドレス																		

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

ドメイン	<input type="checkbox"/> @gmail.com	<input type="checkbox"/> @yahoo.co.jp	<input type="checkbox"/> @docomo.ne.jp	<input type="checkbox"/> @ezweb.ne.jp
	<input type="checkbox"/> @i.softbank.jp	<input type="checkbox"/> @softbank.ne.jp	<input type="checkbox"/> @icloud.com	<input type="checkbox"/> @au.com
	<input type="checkbox"/> @live.jp	<input type="checkbox"/> @outlook.jp	<input type="checkbox"/> @_____	(該当無い場合、記入ください)

2025 年度教育学部科目等履修生 入学志願書・履修申請書及び履歴書・承諾書

氏 名	
-----	--

履 歴 書

学歴：高等学校から記入してください。

職歴：就職予定者は予定と記入してください。現在無職の場合はその旨記入してください。

学 歴	学 校 名	在 学 期 間	在学年数
			年 月 ～ 年 月 卒業・卒業見込・在学中・中退
		年 月 ～ 年 月 卒業・卒業見込・在学中・中退	年 月
		年 月 ～ 年 月 卒業・卒業見込・在学中・中退	年 月
		年 月 ～ 年 月 卒業・卒業見込・在学中・中退	年 月
職 歴	勤 務 先 名 称 等	在 職 期 間	在職年数
		年 月 ～ 年 月	年 月
		年 月 ～ 年 月	年 月
		年 月 ～ 年 月	年 月
		年 月 ～ 年 月	年 月

振替払込受付証明書貼付欄

承 諾 書

- ・勤務先を有する方は、所属長の承諾を受けてください。
- ・他大学に在学している方は、学部長・研究科長の承諾を受けてください。
- ・継続履修生も上記に該当する場合は、出願毎に承諾が必要です。

上記の者が、京都教育大学教育学部科目等履修生として、出願することを承諾します。

年 月 日

職名

氏名

職印

2025 年度教育学部科目等履修生 入学志願書・履修申請書及び履歴書・承諾書

学籍番号 ※新規出願者記入不要						年	月	日
フリガナ								身分証明証用 写真貼付欄 正面・上半身 脱帽・無背景 タテ3cm×ヨコ3cm 写真の裏面に氏名を記入し、貼付けて下さい。 ※継続の方は不要です。
氏名								
生年月日	年	月	日	性別	男・女			
現住所	〒 —							
	電話番号		— —		携帯電話番号		— —	
メールアドレス 裏面に必ず記載してください (連絡通知用)								
履修目的 (具体的に)								
履修目的が 教員免許状 取得の場合記入	取得希望 教員免許状	学校教諭 種 (教科又は領域:)						
		学校教諭 種 (教科又は領域:)						
	現に所有 している 教員免許状	学校教諭 種・級 (教科又は領域:)						
		学校教諭 種・級 (教科又は領域:)						
		学校教諭 種・級 (教科又は領域:)						

履修申請科目等

授業科目名 (クラス名)	開講期	単位数	曜日・時限	担当教員名
	後期		・	
	後期		・	
	後期		・	
	後期		・	
	後期		・	
	後期		・	
	後期		・	
	後期		・	
	後期		・	
合 計 () 科目 () 単位				

(以下教務課記入欄)

- 履修期間確認 期間確認 (年 月入学) 新規入学生
- 検定料納入 納入済 納入不要 (継続、 規程第 15 条)
- 履修科目確認 科目単位数 (3 月出願単位数確認 科目 単位) 出願不許可科目無し
- 所属長承諾 有 不要
- 添付書等確認 健康診断書⇒ 不要 (前回提出診断日 前年度 10/1 以降)
- 卒業 (見込) 証明書 (在学証明書) ⇒ 不要 (学歴変更無、 本学卒業生)
- 成績証明書⇒ 不要 (学歴変更無、 本学卒業生)
- 教員免許状 (小 2、 幼 2) ⇒ 不要
- 宛名ラベル

出願学科等教 () 学科

2025年度教育学部科目等履修生 入学志願書・履修申請書及び履歴書・承諾書

氏名	
----	--

メールアドレス

※下記の文字は判別が難しく、誤登録のおそれがありますので、フリガナ付けに協力をお願いします。
。(下記の文字以外はフリガナなしで結構です)。

フリガナ	イチ	エル	アイ	オー	ゼロ	エイチ	エヌ	ゼット	ニ	エイ	キュウ (数字)	キュー	ジー	ハイ フン	アンダ ーバー
アドレス	1	l	i	o	0	h	n	z	2	a	9	q	g	-	-

フリガナ																				
アドレス																				
フリガナ																				
アドレス																				

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

ドメイン	<input type="checkbox"/> @gmail.com	<input type="checkbox"/> @yahoo.co.jp	<input type="checkbox"/> @docomo.ne.jp	<input type="checkbox"/> @ezweb.ne.jp
	<input type="checkbox"/> @i.softbank.jp	<input type="checkbox"/> @softbank.ne.jp	<input type="checkbox"/> @icloud.com	<input type="checkbox"/> @au.com
	<input type="checkbox"/> @live.jp	<input type="checkbox"/> @outlook.jp	<input type="checkbox"/> @_____	(該当無い場合、記入ください)

2025 年度教育学部科目等履修生 入学志願書・履修申請書及び履歴書・承諾書

氏 名	
-----	--

履 歴 書

学歴：高等学校から記入してください。

職歴：就職予定者は予定と記入してください。現在無職の場合はその旨記入してください。

学 歴	学 校 名	在 学 期 間	在学年数
			年 月 ~ 年 月 卒業・卒業見込・在学中・中退
		年 月 ~ 年 月 卒業・卒業見込・在学中・中退	年 月
		年 月 ~ 年 月 卒業・卒業見込・在学中・中退	年 月
		年 月 ~ 年 月 卒業・卒業見込・在学中・中退	年 月
職 歴	勤 務 先 名 称 等	在 職 期 間	在職年数
		年 月 ~ 年 月	年 月
		年 月 ~ 年 月	年 月
		年 月 ~ 年 月	年 月
		年 月 ~ 年 月	年 月

振替払込受付証明書貼付欄

承 諾 書

- ・勤務先を有する方は、所属長の承諾を受けてください。
- ・他大学に在学している方は、学部長・研究科長の承諾を受けてください。
- ・継続履修生も上記に該当する場合は、出願毎に承諾が必要です。

上記の者が、京都教育大学教育学部科目等履修生として、出願することを承諾します。

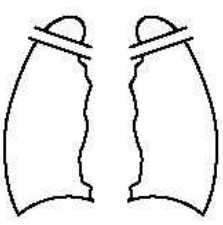
年 月 日

職名

氏名

職印

健康診断書

フリガナ 氏名 生年月日	() 年 月 日生	男・女
現住所	〒..... 電話 () -	
診 断 事 項		
身長	cm	体重 kg
視力	右 左	その他の 疾病及び 異常
エックス 線検査	エックス線像 直接 間接 	
	撮影番号 撮影年月日 年 月 日	診断医 所見
	所見	健康・要観察・要治療
<p>診断の結果上記のとおり相違ないことを証明する。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>医療機関所在地</p> <p>医療機関名</p> <p>医師氏名</p> <p style="text-align: right;">⑩</p>		

記入上の注意

1. 太枠内は、志願者が記入すること。
2. 視力欄は、両眼の裸眼視力が0.7未満の者については、矯正視力を必ず記入すること。
3. その他の疾病及び異常の欄については、内科的疾患、運動障害及び精神障害で治療を要すると認められるもの、又は教育上、保健指導上必要と認められるもの並びに主な既往症及び罹患時の年齢を記入すること。
4. 検査方法等は、学校保健安全法施行規則の定めるところによること。
5. 各項目とも、漏れなく記入すること。

年 月 日

京都教育大学長 殿

氏名 _____

履 修 辞 退 届

履修許可された下記授業科目について、辞退します。
 ついては、下記振込先への授業料返還を申し出ます。

記

辞退授業科目名	担当教員名	単位数	曜日	時限
-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----

合計 _____ 科目 _____ 単位 _____

辞退理由

振込先口座情報

学籍番号	-----
氏名	-----
返還金額	-----
振込先	信用金庫 銀行 支店
預金種別	普通 ・ 当座
口座番号	-----
(ふりがな) 口座名義	-----